

グレースチャペル礼拝週報

グレースチャペルの礼拝ようこそ！
主の恵み溢れる礼拝でありますように！

詩篇朗読：詩篇 143 篇

聖書箇所：使徒言行録 2 章 1～13 節

説教題：「聖霊降臨

—ペンテコステに起ったこと—

*使徒言行録 2:1～13

2:1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、
2:2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。
2:3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。
2:4 すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。
2:5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、
2:6 この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。
2:7 人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。
2:8 どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。
2:9 わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、
2:10 フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、
2:11 ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もおり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」
2:12 人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。

2:13 しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。

*ヨハネ 20 : 19～23

20:19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。
20:20 そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。
20:21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」
20:22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。
20:23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

*使徒言行録 1 : 8

1:8 あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

*使徒 1 : 4～5

1:4 そして、彼らと食事を共にしていたとき、こう命じられた。「エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。
1:5 ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を受けられるからである。」

ーメッセージ・アウトラインー

ペンテコステの日に、イエス様の言葉に従って、「父の約束されたもの」を待ち望み、心をつつにして祈っていた120人の弟子たちの上に聖霊が降るといふ出来事が起こりました。それゆえ、キリスト教では、この日を「聖霊降臨日」と呼びます。

(1) ペンテコステは教会の誕生日か？

しばしばこのペンテコステというのは「教会の誕生日」と言われてきました。しかし、よく調べてみると、このペンテコステの日よりも前から教会は存在していたということが分かります。*ヨハネ 20：19～23

(2) 聖霊降臨日に起こったこととは何か？

では、もし教会がこの時誕生したとしたら、つまり教会の誕生日がイエス様の復活の夜であったとすれば、ペンテコステの日には、いったい何が起こったのでしょうか。*使徒 2：1～3、4

(3) 宣教とはどのようなことか？

人間的な視点から考えれば、このとき弟子たちは準備万端整った状態であったのかと言えば、決してそうとは言えません。生まれたばかりの小さな教会を取り巻く環境は、きわめて厳しいものでした。弟子たちは、そして教会は、まだ弱さの中にあつたのです。しかしイエス様は、このことを良く理解しておられました。*使徒 1：4～5

「使徒行伝がえがいている教会は、まずはじめに教会形成を念入りにおこなうべく内省的な期間をついやし、十分な準備ができあがったと思われるようになったときはじめて宣教へと動きだした、というようなものではなかつた。準備のあるなしにかかわらず、聖霊がくだつたその瞬間から、直ちに、宣教の教会となつたのである。なぜなら、その教会は、聖霊の支配のもとにある教会だつたからである。」(J・G・デーヴィス)